

A 体づくり運動系

	単元	観点別評価基準	具体的な児童の姿
低学年	体づくりの運動遊び	知識・技能	【体ほぐしの運動遊び】 手軽な運動遊びを行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、友達と関わりあったりできる。 【多様な動きをつくる運動遊び】 体のバランスをとったり、体を移動させたり、用具を操作したり、力試しをしたりすることができる。
		思考・判断・表現	遊び方を工夫したり、考えたことを友達に伝えたりすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	きまりを守り誰とでも仲よく運動することができる。
中学年	体づくり運動	知識・技能	【体ほぐしの運動】 手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わりあったりすることができる。 【多様な動きをつくる運動】 体のバランスをとったり、体を移動させたり、用具を操作したり、力試しをしたり、それらを組み合わせたりすることができる。
		思考・判断・表現	運動の課題を見付け、解決のために工夫したり、考えたことを友達に伝えたりすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたりすることができる。
高学年	体づくり運動	知識・技能	【体ほぐしの運動】 心と体の関係に気付いたり、仲間と関わりあったりすることができる。 【体の動きを高める運動】 ねらいに応じ、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高める運動をすることができる。
		思考・判断・表現	体の状態や体力に応じて運動の行い方を工夫し、考えたことを他者に伝えることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取り組みを認めたりすることができる。

B 器械運動系

	単元	観点別評価基準	具体的な児童の姿
低学年	器械・器具を使っている運動遊び	知識・技能	【固定施設を使った運動遊び】 上り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをするすることができる。 【マットを使った運動遊び】 いろいろな方向に転がったり、手で支えて体を保持したり回転したりすることができる。 【鉄棒を使った運動遊び】 支持しての揺れや上り下り、ぶら下がりがや易しい回転をすることができる。 【跳び箱を使った運動遊び】 跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りができる。
		思考・判断・表現	簡単な遊び方を工夫することができる。
		主体的に学習に取り組む態度	順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動することができる。
中学年	器械運動	知識・技能	【マット運動】 回転系や巧技系の基本的な技ができる。 【鉄棒運動】 支持系の基本的な技ができる。 【跳び箱運動】 切り返し系や回転系の基本的な技ができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、できるように工夫したり、考えを友達に伝えたりできる。
		主体的に学習に取り組む態度	きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたりできる。
高学年	器械運動	知識・技能	【マット運動】 回転系や巧技系の基本的な技を安定して行うことができる。 【鉄棒運動】 支持系の基本的な技を安定して行い、それらを組み合わせたりできる。 【跳び箱運動】 切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行うことができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、解決方法や組み合わせ方を工夫したり、考えたことを他者に伝えたりすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えを認めたりすることができる。

C 陸上運動系

	単元	観点別評価基準	具体的な児童の姿
低学年	走・跳の運動遊び	知識・技能	【走の運動遊び】 いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりできる。 【跳の運動遊び】 前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりできる。
		思考・判断・表現	走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫することができる。
		主体的に学習に取り組む態度	順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたりすることができる。
中学年	走・跳の運動	知識・技能	【かけっこ・リレー】 調子よく走ったり、バトンの受渡しをしったりできる。 【小型ハードル走】 小型ハードルを調子よく走り越えることができる。 【幅跳び】 短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 【高跳び】 短い助走から踏み切って跳ぶことができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題を見付け、できるように工夫し、考えたことを友達に伝えることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたりできる。
高学年	陸上運動	知識・技能	【短距離走・リレー】 一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしったりできる。 【ハードル走】 ハードルをリズムカルに走り越えることができる。 【走り幅跳び】 リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 【走り高跳び】 リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決や記録への挑戦の仕方を工夫し、考えを他者に伝えることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	約束を守り助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり仲間の取り組みを認めたりできる。

D 水泳運動系

	単元	観点別評価基準	具体的な児童の姿
低学年	水遊び	知識・技能	【水の中を移動する運動遊び】 水につかって歩いたり走ったりできる。 【もぐる・浮く運動遊び】 息を止めたり吐いたりしながら水にもぐったり浮いたりできる。
		思考・判断・表現	水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫することができる。
		主体的に学習に取り組む態度	順番やきまりを守って、水遊びの心得を守って安全に気を付けることができる。
中学年	水泳運動	知識・技能	【浮いて進む運動】 け伸びや初歩的な泳ぎができる。 【もぐる・浮く運動】 息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方ができる。
		思考・判断・表現	水の中での動きを身に付けるための活動を工夫したり、考えたことを友達に伝えたりすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	きまりを守り誰とでも仲よく運動したり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすることができる。
高学年	水泳運動	知識・技能	【クロール】 手や足の動きに呼吸を合わせて泳ぐことができる。 【平泳ぎ】 手や足の動きに呼吸を合わせて泳ぐことができる。 【安全確保につながる運動】 背浮きや浮き沈みをしながら長く浮くことができる。
		思考・判断・表現	自己の能力に適した課題の解決や記録への挑戦の仕方を工夫し、考えを他者に伝えることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	約束を守り助け合って運動したり、仲間の取り組みを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすることができる。

E ボール運動系

	単元	観点別評価基準	具体的な児童の姿
低学年	ゲーム	知識・技能	【ボールゲーム】 簡単なボール操作をし、攻めと守りの動きでゲームができる。 【鬼遊び】 一定の区域で逃げたり追いかけたり、陣地を取り合ったりできる。
		思考・判断・表現	攻め方を選んだり、考えたことを友達に伝えたりすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	規則を守り、誰とでも仲よく運動し、勝敗を受け入れたり安全に気を付けたりすることができる。
中学年		知識・技能	【ゴール型ゲーム】 基本的なボール操作と、ボールを持たない時の動きで易しいゲームができる。 【ネット型ゲーム】 基本的なボール操作とボールの位置に移動する動きで易しいゲームができる。 【ベースボール型ゲーム】 打つ、捕る、投げるボール操作と得点を取ったり防いだりする動きで易しいゲームができる。
		思考・判断・表現	ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだり、考えを友達に伝えたりすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	規則を守り誰とでも仲よく運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。
高学年	ボール運動	知識・技能	【ゴール型】 基本的なボール操作と、ボールを持たない時の動きで簡易化されたゲームができる。 【ネット型】 攻撃と守備によって簡易化されたゲームができる。 【ベースボール型】 打つ攻撃と隊形をとった守備によって簡易化されたゲームができる。
		思考・判断・表現	チームの特徴に応じた作戦を選んだり、仲間の考えたことを他者に伝えたりすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	約束を守り助け合って運動したり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができる。

F 表現運動系

	単元	観点別評価基準	具体的な児童の姿
低学年	表現リズム遊び	知識・技能	【表現遊び】 身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ることができる。 【リズム遊び】 軽快なリズムに乗って踊ることができる。
		思考・判断・表現	簡単な踊り方を工夫したり、考えたことを友達に伝えたりできる。
		主体的に学習に取り組む態度	誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすることができる。
中学年	表現運動	知識・技能	【表現】 身近な生活などの題材から、主な特徴を捉え、ひと流れの動きで踊ることができる。 【リズムダンス】 軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。
		思考・判断・表現	題材やリズムの特徴をとらえた踊り方を工夫することができる。
		主体的に学習に取り組む態度	誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすることができる。
高学年		知識・技能	【表現】 いろいろな題材から主な特徴を捉え、即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができる。 【フォークダンス】 日本の民謡や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を簡単なステップや動きで踊ることができる。
		思考・判断・表現	自己やグループで、表したい内容や踊りの特徴をとらえた動きの課題を見付け、練習や発表の工夫をすることができる。
		主体的に学習に取り組む態度	互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができる。